

みずほCustomer Desk Report 2018/10/30号(As of 2018/10/29)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.95
TKY 9:00AM	111.92	1.1398	127.58	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	112.56	1.1416	128.24	1.2830	0.7097
SYD-NY Low	111.78	1.1361	127.25	1.2853	0.7108
NY 5:00 PM	112.38	1.1372	127.82	1.2791	0.7051
NY DOW	24,442.92	▲ 245.39	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,050.29	▲ 116.92	日本10年債	0.1000	▲ 1.00bp
S&P	2,641.25	▲ 17.44	米国2年債	2.8204	1.21bp
日経平均	21,149.80	▲ 34.80	米国5年債	2.9215	1.35bp
TOPIX	1,589.56	▲ 6.45	米国10年債	3.0878	1.13bp
シカゴ日経先物	21,055.00	▲ 225.00	独10年債	0.3790	2.35bp
ロンドンFT	7,026.32	86.76	英10年債	1.3980	1.35bp
DAX	11,335.48	134.86	豪10年債	2.5715	▲ 1.85bp
ハンセン指数	24,812.04	94.41	USDJPY 1M Vol	7.33	▲ 0.09%
上海総合	2,542.10	▲ 56.74	USDJPY 3M Vol	7.55	▲ 0.05%
NY金	1,227.60	▲ 8.20	USDJPY 6M Vol	7.95	▲ 0.04%
WTI	67.04	▲ 0.55	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	193.42	▲ 2.08	EURJPY 3M Vol	9.17	▲ 0.26%
ドルインデックス	96.58	0.22	EURJPY 6M Vol	9.58	▲ 0.23%

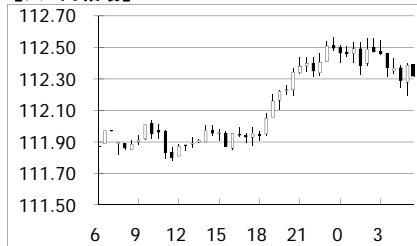
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月29日	21:30	米 個人所得	9月 0.2%	0.4%
	21:30	米 個人支出	9月 0.4%	0.4%
	21:30	PCEデフレ(前月比/前年比)	9月 0.1%/2.0%	0.1%/2.0%
	21:30	PCEコアデフレ(前月比/前年比)	9月 0.2%/2.0%	0.1%/2.0%
	22:45	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演 「好調な雇用市場、労働者の復職促進する可能性も」		

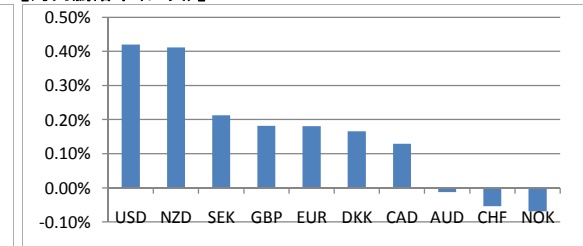
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月30日	08:30	日 失業率	9月 2.4%	2.4%
	17:00	欧 レーン・カナダ中銀副総裁 講演		
	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	10月 3.9	4.7
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	10月 14.0	14.6
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q 0.4%/1.8%	0.4%/2.1%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.1%/2.4%	0.4%/2.3%
	22:30	欧 フラートECB専務理事 講演		
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	10月 135.9	138.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.70-112.70	1.1320-1.1440	127.30-128.30

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は上昇。メルケル独首相は12月の党首選に立候補しないとの報道を受け、欧州政治を巡る不透明感が強まり、ユーロの軟調地合いが継続。ユーロの下落に加え、米経済指標の発表が良好だったこと等を受け、ドルは主要通貨に対して上昇し、ドル円も111円台後半から一時112円台半ばまで堅調に推移した。本日のドル円は上値重く推移すると予想。昨日米株の下げが止まらず、本日はアジア株式市場への波及も考えられる。また、中国に対する追加関税の報道も出ており、不安定な相場環境が続く中、本日は株式市場の動向を睨みながら、ドル円は112円台前半で上値重く推移すると予想。

東京	東京時間、111.92レベルで取引を開始したドル円は月末のスポット応答日であることから実需の買いフローが意識される中、112.04まで上昇。その後、日経平均株価が下落する中、ドル円は安値111.78まで反落。その後は112円台を回復する場面も見られたが、111円台後半をメインとして狭いレンジでの推移となり、111.87レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は終始上昇基調で推移。111.87レベルでオープン後、欧州株が堅調に推移したことを背景に東京時間のリスクオフセメントが小幅ながら回復。ドル買いの流れになったことで一時112.44まで上昇し、112.39レベルでNYに渡った。ユーロは1.1398レベルでオープン。大手格付会社がイタリアの格下げを見送ったことや欧州株の反発上昇にサポートされ1.1412まで上昇するが、「メルケル独首相が次期党首選に出馬しない」との報道が伝わり、ドイツ政局不安からユーロ売りの流れとなり安値1.1361まで反落。その後「メルケル首相が続投希望」とのヘッドラインに反応し、高値1.1416まで反発。その後ドルの上昇を背景に上げ幅を縮小し、1.1395レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は日経平均の下落に圧迫され一時111.78まで下落するが、その後欧州株の堅調推移を背景にリスク選好ムードが強まり、米金利・米株先物の上昇とともに再び112円台を回復。112.44まで上昇し、112.39レベルでNYオープン。NY朝方は米9月個人所得が予想を下回り、個人支出が予想と一致する一方、前回分が上方修正、またPCEコア(前月比)が予想を上回る。強弱混在の結果にドル円の反応は限定的。その後、米10年債利回りが3.1%台を回復する動きを横目に高値112.56まで上昇。しかしNY午後は米株がマイナス圏に沈む動きに連れ安となりドル円は反落。関係者の話として「11月の米中首脳会談が不調で終わった場合、米国は新たな対中関税を計画」との報道が伝わり112.19まで統落。NY終盤は小幅に値を戻し、112.38レベルでクローズ。一方、ユーロは1.1395レベルでNYオープン。NY朝方は米金利の上昇を背景にドル買いが強まったほか、メルケル首相が12月の次期党首選に出馬しないことを記者会見で表明したことからユーロが売られ1.1369まで下落。このレベルではユーロの買い意欲も見られる中、1.1400まで上昇するが、結局1.1372レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 濱・田家